



# 慈光

第111号

令和5年3月



## 編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園

慈光園デイサービスセンター

慈光園中央デイサービスセンター

在宅介護支援センター慈光園

ケアハウス ウェルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://nagai-jikouen.jp/>

印刷 (株)サンノー企画印刷





## 令和四年度の振り返りと次年度に向けて

社会福祉法人長井福祉会慈光園

園長 皆川 善典

昨年十一月、新型コロナウイルスによるクラスターが発生しました。コロナ騒動から三年、感染防止対策を構築してきた牙城がいとも簡単に崩れたように思えた出来事でした。当時、ウ

イルスは弱毒化に変異していましたが、基礎疾患を有した高齢者施設として安全、安心な生活の場を提供できないことへの申し訳なさを感じたところです。一方、職員の感染者も増加し労力不足になりながらも全職員一丸となり力戦奮闘の甲斐あって発生から二十九日目で終息することができました。これも昼夜問わず診察や指示をくださった主治医の先生方には感謝の念でいっぱいです。

さて、新型コロナウイルスは今後も変異を繰り返して社会にはびこると推測されますが、国では一つの区切りとして五月八日から季節性インフルエンザと同等の扱いになります。しかし、基礎疾患を有するご利用者の施設ですから急激な緩和はできません。当法人としては、現状の感染予防策を取り

つつも令和五年度は従前からの各種行事、オンラインを活用した研修など業務全般に渡り新たな体制や環境づくりを行って参りたいと考えています。

令和五年度、慈光園は創立三十九周年を迎えます。これを機に、三大介護の一つでもある「排泄」に焦点を合わせ、若手職員による「排泄ケア研究会」を立ち上げます。慈光園が培った現在の知識及び技術を検証しつつ必要に応じてそれを一旦封じ、先進的かつ革新的な排泄介護を行うことも視野に入れながら若手による大胆な活動を図りたいと動いています。この研究会設置は、若手職員のモチベーションを掘り起こし、過去にとらわれない知識と技術の導入というイノベーション（技術革新）をもたらしたいと考えています。また中堅以上のベテラン職員がこの研究会を通して、若手職員を見守り育てる力を見出し、もって慈光園における介護「品質」の更なる向上に繋がることを期待していると述べています。



### ミャンマーからの特定技能のみなさんへ聞いてみました!!

#### ?質問?

- ① 仕事で嬉しかったことは?
- ② 仕事で大変、難しかったことは?
- ③ これからの目標は?

令和4年8月から、一緒に働き始めたミャンマーからの6人のみなさん。毎日笑顔で利用者さんと接し、一生懸命働いています。約半年間働いて、どんなことを思っているか聞いてみました。



#### キン タン チョーさん

- ① 日本語が分かり会話出来た
- ② 日本語が分からない
- ③ 他の棟の利用者さんや職員の方の名前を覚えたい



#### イイソーさん

- ① 利用者さんから方言を学べること
- ② 難しいことが多いですが職員さんに教えてもらいできるようになりました
- ③ 仕事に慣れ安全な介護ができるようになりたい



#### ミイツ ミイツ モーさん

- ① 新春餅つき大会に参加できた事
- ② 食事介助や記録を読むこと
- ③ 記録ができるようになり夜勤も1人立ちできるようになりたい



#### チュチュカインさん

- ① 「おしょうな」と言われたこと
- ② 漢字や方言  
腰が痛くなることも・・・
- ③ 利用者さんとのコミュニケーションを頑張りたい



#### タン タイ アウンさん

- ① 利用者さんに何か依頼された時や褒めて頂いたとき
- ② 記録を日本語で記入すること
- ③ 日本語の勉強を頑張り情報共有をもっと頑張りたい



#### イエピエチョーさん

- ① 節分の行事に参加できたこと
- ② 記録を読むこと
- ③ 記録を書くことを頑張りたい

## ようこそ!! 慈光園へ

これからも一緒に頑張っていきましょう

### フィリピンから新しく2名のEPA介護福祉士候補者をお迎えました

1月から新たに2名のEPA介護福祉士候補者をお迎えしました。働きながら介護の経験を積み、介護福祉士の試験合格を目指します。異国の地で様々な壁もあると思いますが、ご利用者や一緒に働く職員と支え合いながら、目標に向け日々頑張っています。

#### アゴテ マイケル デイヴさん

#### フランシスコ プレシャス メイさん



笑顔で優しく声を掛け、一つ一つ丁寧に介護を行っております。













「排泄ケア研究会」を立ち上げました



会長 船山 若菜さん(介護員)  
研究会として様々な視点で排泄ケアの検証を行いながら意見を出し合い、園全体の排泄ケア品質の向上を目指していききたいと思います。

井上 琴美さん(介護員)  
トイレ誘導が必要な方に対して一人ひとりの特徴を把握し、その方に合ったパットを選定しながら快適に排泄できるように支援していききたいと思います。

渡部 綾香さん(介護員)  
重度のご利用者にはベット上でも負担なく排泄でき床ずれの予防にもつながるように研究会で勉強したことを活かしていききたいと思います。

梅津 友子さん(管理栄養士)  
食事の面からご利用者の排泄をサポートできるように学んでいきたいです。

佐藤未知瑠さん(理学療法士)  
ご利用者に最適な関節へのアプローチを介護員と共有し安全な排泄ケアにつなげていきたいです。

荒生佳奈子さん(看護員・研究会オブザーバー)  
今までの経験を活かして新しいことにチャレンジする職員をサポートしながら共に学び、見守っていただければと思います。



第1回全体集会より

- ◎橋本 恵 塚田 静
- 飯澤 亮平 孫田 貴博
- 中村 佳苗 佐藤 智衣
- 菊地いづみ 鈴木 芳子
- 後藤めぐみ 菅間 薫
- 鈴木 里紗

広報委員



来年度もご利用者様の前向きで明るい笑顔を多くお届けしていきます。

今年度最後の広報誌となりました。  
気温の高い日が続き車の窓を開けて田んぼ道を運転しているとき、ふと土の匂いがして春の訪れに心が浮き立つ感じがしました。寒さ厳しい冬の後に温かい春があるからこそ、そんな気持ちになるのかなと思いました。

編集後記